

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	門脈圧亢進症に伴う食道胃静脈瘤に対する腹腔鏡下 Hassab 手術の長期成績
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	消化器外科
研究責任者	(職名)講師 (氏名)深見保之
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	門脈圧亢進症に伴う食道胃静脈瘤の手術治療法に関して、近年、腹腔鏡下 Hassab 手術の高い安全性と有用性が報告されています。しかしながら長期成績についてはまとまった報告が少ないのが現状です。 当院で行ってきた門脈圧亢進症に伴う食道胃静脈瘤に対する腹腔鏡下 Hassab 手術の成績を検討・分析し、長期予後を明らかにすることを目的としています。
対象となる患者さん	2009年5月から2015年5月までに、愛知医科大学消化器外科で腹腔鏡下 Hassab 手術を施行した患者さん
研究の方法	愛知医科大学消化器外科で腹腔鏡下 Hassab 手術を施行した患者さんの、周術期データ(術前上部内視鏡検査所見、手術、時間、血小板数、術後合併症など)と長期フォローアップデータ(1年後の上部消化管内視鏡検査所見、1年後と2年後の血小板数など)を解析し、短期成績と長期予後を明らかにします。詳しい研究計画及び研究の方法に関する資料を入手や閲覧することができます。ご希望の場合は、下記問い合わせ先にご連絡下さい。
研究期間	研究実施承認日 ~ 2022年12月31日
研究に用いる試料・情報	情報: 術前上部内視鏡検査所見、手術、時間、血小板数、術後合併症、1年後の上部消化管内視鏡検査所見、1年後と2年後の血小板数など
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2022年4月30日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。

問い合わせ先	愛知医科大学 医学部外科学講座（消化器外科） 担当者：(職名)講師 (氏名)深見保之 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22121)
--------	---